

中野区社会的養育推進計画(素案)

子どものみなさんからの主な意見と それに対する区役所の考え方

中野区では、子どものみなさんが安心して幸せに育つことができるように「社会的養育推進計画」という計画を作っています。より良い計画にするために、子どものみなさんから意見をききました。



中野区社会的養育推進計画とは…

中野区が、家族や周りの大人と協力して子どもの生活を支えたり、ときには家族のかわりに子どもを育てる社会的養育についての計画です。作っている途中の計画のことを「計画素案」といいます。

- 令和6年12月11日 上高田児童館
- 令和6年12月13日 中野東図書館ティーンズルーム
- 令和6年12月18日 南中野児童館 で意見をききました。

No	主な意見	区役所の考え方
中野区社会的養育推進計画(案)について		
当事者の子どもの意見や意向の確認		
1	子どもの話を聞く場面において、優しく、話しやすく、思いやりがあって、何でも受け止めてくれる人が相談に乗ってくると安心できる。話を最後まで聞いてくれ、助けてくれる人がいると良い。優しいおじいちゃんとかおばあちゃんとか。年配の人は寛容そうなイメージなので相談できそう。	子どもが期待する話を聴く大人の姿勢について、研修等を通じて理解し、意識できるようにしていきます。
2	大人に相手にされないことが多い。自分の言った好きなことや食べ物とか、細かいことを覚えててくれると自分のことを考えてくれているなどと思って、嬉しいし安心する。そういう人は忘れない。同じ経験をしている人がいてくれたら安心できる。	
3	メールや手紙、電話など、対面以外の方法は気持ちを伝えられる。	対面で話しにくいという子どもに対しては、必要に応じて、子どもが気持ちを伝えやすい方法で対応していきます。
子どもの権利をまもる一時保護所での対応		
4	一時保護所は料金はかからないのか。	一時保護所は料金はかかりません。

<p>5 一時保護所で読書や工作をしたい。図書室があると良い。中で毎日友達と遊んでゲームができて、ゲームがダウンロードできると良い。スポーツやキャッチボールできると良い。ゲームやタブレットを使えるのは安心、楽しそうと思った。イベントを開いてほしい。ごろごろできる広い場所があるといい。庭があるといい(ジャングルジム、鉄棒があるといい)。</p>	<p>★ <u>計画(案)に反映しました!</u> 読書・ゲーム・スポーツ・季節の行事を行ったり、運動ができる広めのスペースや中庭を配置するなど、子どもが余暇を楽しく過ごせる工夫をしています。 子どもにとって必要な物品の配備を行うことについて書いてあるページに追加します。</p>
<p>6 生活の場に明かりがたくさんあって、明るい場所であってほしい。大人が見回りなどして、安心できる場所であってほしい。(写真を見て)これだけのものがそろっていれば大丈夫。保護所にいろいろなスペースがあってよかった。いやな気持ちがある人も安心して過ごせることで、いやな気持ちがなくなるかもしれない。</p>	<p>食堂などは家庭的な雰囲気や大事にするため天井からの灯りやペンダントライトをつけ、明るい印象を持ってもらえるようにしています。子ども同士で話し合い、希望の物品を購入することもあり、職員は子ども達の嫌な気持ちも少しでも減るように受け止めています。これからも、子ども達が安心できる場所となるようにします。</p>
<p>7 1人で過ごせて、1人の時間がある。時には、みんなと遊ぶことができる環境だと嬉しい。</p>	<p>その時々のお気持ちに応じて、居室で1人で過ごすこともリビング等でみんなと遊ぶこともできる環境を作っています。</p>
<p>8 信頼できる大人や友達がいると安心できる。ごはんがちゃんと食べられる。虐待されない。不安がない。家族と離れて怖かったり不安だと思うので、相談ルームとか話を聞いてくれる場所や時間があるといい。</p>	<p>一時保護所の職員が「安心できる大人」として関わっています。温かい食事と楽しく遊べる環境としっかり休息が取れるようにしています。不安な場合には職員に相談できる時間とスペースを用意しています。これからも、子どもたちが安心できる場所となるようにしていきます。</p>
<p>9 学校に通えるなら、友達との連絡手段としてスマホが使えると良い。一時保護所も楽しいと思うが、登校した時に一時保護所にいることを知られたくないので、一時保護所は行きたくない気持ちになる。同級生とは家の話になってしまうので、引け目を感じて楽しくなくなる。そうなるとストレスになるので、無理に登校しなくていいと思う。</p>	<p>色々な事情で一時保護所に来る子どもがいるので、一時保護所の場所は秘密にしています。そのため、一時保護所内で友達との連絡手段として私物のスマートフォンを使用することは難しいです。一時保護所から登校するかしないかは何よりも子どもの意志を尊重して決定しています。登校時に保護されていることは知られないように配慮していますが、登校することにストレスを感じた時は、登校を中断することもあります。登校しなくても一時保護所で学習の時間を確保して勉強等ができるようにしています。</p>
<p>10 先が見えないのは不安。どうなっていくのか自分でも目安がわかるといい。</p>	<p>一時保護中には担当の児童福祉司や児童心理司と面接を重ね、できる限り今後の見通しを伝えるようにしています。引き続き、自分の状況やこの先のことについて、しっかりと大人から話ができるように対応していきます。</p>

家庭から離れて暮らす子どもの家庭的で安心のできる生活の継続

11 家ではないところで生活する子どもについて、察みたいなところで暮らしているイメージだった。両親のもとで暮らせない子が幸せに暮らせたなら良いなと思った。

家庭で暮らせない子どもにとっても、家庭的で安心して幸せに暮らせるような生活の環境を整えていきます。

12 里親とか施設って、子どもが決められるのか。施設や里親について、自分で選べると良い。里親に行くときは、場所や家族構成などを教えてもらいたい。そして、子どもの意見を聴いてほしい。施設の方が子どもがたくさんいるから安心できる。施設の方が他の子どもがいて楽しそう。

★計画(案)に反映しました！
 子どもの意見や希望を確認したうえで、子どもにとって最善の方法を検討します。里親については、できるだけ里親家庭の状況を子どもに伝え、子ども自身に考えて意見をもらえるようにしていきます。子どもが家庭から離れて施設で生活することになった場合には、施設について説明をしっかりと行い、安心して施設での生活に進めるように対応をしていきます。そのことを里親や施設について書いてあるページに追加します。

13 里親と里子ではうまくいかない人もいると思うので、拒否権があつていいと思う。子どもの意見を聴くことは大事だと思う。

★計画(案)に反映しました！
 里親委託を進めるにあたっては、子どもの意見をしっかりと聴き、里親との交流を進めていきます。そのことを里親や施設について書いてあるページに追加します。

その他

14 両親の喧嘩が嫌だと思う時がある。祖父母に相談するけど、父親はいうことを聞かない。もっとちゃんと怒ってくれるといい。

両親の喧嘩が嫌だと思うのは当然のことです。児童相談所は、その影響を含めて、家族に理解し、改善してもらえるよう関わっていきます。その時は、子ども本人の考えや気持ちも大切にしていきます。

15 大人と話しをする時、学校の先生や児童館の職員、区役所の職員のような、安心してできみんなが普段から知っている人には話しやすい。自分たちと年齢が近い大人だと話しやすい。初対面の人には話しにくい。児童相談所の大人は堅苦しい印象だったので、対等な立場、同級生と話すような感じで接してほしかった。児童相談所の職員が小学校に挨拶に行くなど、普段から顔見知りになれるといい。

★計画(案)に反映しました！
 子どもにとって児童相談所がより身近な存在となるような工夫を検討していきます。そのことを児童相談所について書いてあるページに追加します。

色々なご意見ありがとうございました！

いただいた意見を踏まえ、計画(案)をつくりました。計画(案)はこちらから▶



● 問い合わせ先

でんわばんごう
 電話番号:03-5937-3289

メールアドレス:jidou-soudan@city.tokyo-nakano.lg.jp